

教材の活用場面

活用した教材	こんなとき、どうする？【B123-1】		
STEP	STEP 1～3	領域	B 情報活用
学校名	杉並区立天沼小学校	校種	小学校
学年	第4学年	教科等	—
活動時間	朝学習		
活用の概要	<ul style="list-style-type: none"> 調べた情報を基に自分が伝えたい内容を表現するために、相手や目的に応じて伝え方を変えていく必要があることを、本教材を活用して自分のペースで学ぶ。 		

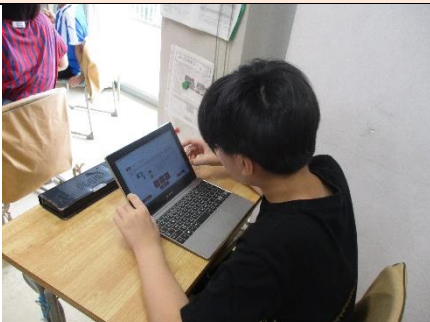
活用の様子

【ポイント1】（STEP1 低学年）「相手」を意識した表現の工夫を身に付ける。



STEP1（小学校低学年向け）では、「相手」によって、どのように表現を工夫するとよいのかをクイズ教材を通して学ぶことができました。全員が正解することができました。

【ポイント2】（STEP2 中学年）「相手」や「目的」を意識した表現を考える。



STEP2（小学校中学年向け）は、低学年の「相手」に加えて、「目的」も意識した表現方法のコツを考える教材となっている。学校での発表や新聞作成について考える問題は、児童にとって考えやすい内容であった。

【ポイント3】（STEP3 高学年）「相手」や「目的」に応じた表現方法を考える。



STEP3（小学校高学年向け）は、伝えたい内容や伝える相手を考慮して表現することが必要なことを、周りの友達と相談しながら学ぶことができていた。